

令和7年2月7日

保護者 様

弥富市立十四山中学校長
村井 清彦

「十四山中学校をよりよくするために」 保護者アンケートの集約結果について（ご報告）

保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、過日はご多用の中、「保護者アンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。

アンケート結果を参考にして、弥富中学校と情報共有を進め、地域に信頼される学校を目指し、努力していきたいと思えます。十四山中学校としては3月末までとなりますが、今後も、本校教育へのご協力をお願いいたします。

〈 アンケート結果から 〉

- ※ 「学校は、困ったときに相談に乗ってくれる」の問いに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答された保護者は95%、生徒は96%で、昨年度より増加しました。保護者・生徒にとって教員が「困ったときに相談に乗ってくれる存在」として認められており、小規模校の利点を十分に生かして、互いに良い関係が築けていることが分かります。今後もその関係性が継続、または新たに構築できるよう、弥富中学校にもきめ細やかな見守りや対応を依頼してまいります。
- ※ 「(お子さんは) 楽しく学校に通っている」の問いに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している保護者は90%、生徒も96%で高い数値を示しています。十四山中学校最後の年ということもあり、生徒も保護者も教職員も、学校や学級でより充実した生活を送りたい、送らせてあげたいという思いが強くなります。この思いが新しい環境の中でも変わらず持ち続けられ、満足度を高められるよう、また、生徒たちの次の学校への不安を少しでも解消させるために、より一層指導の充実を図ります。
- ※ 「(お子さんは) 部活動に意欲的に参加している」の問いに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している保護者は85%、生徒は94%で昨年度より共に増加しました。部活動は加入する・加入しないを選択することができますが、現1・2年生においては弥富中学校の部活動に加入する生徒も増えました。昨夏からは弥富中との合同練習を取り入れており、ギャップをできるだけ解消するよう、引き続き支援してまいります。
- ※ 「(お子さんは) ノート・問題集・作品などはきちんと提出している」の問いに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答された保護者は87%、生徒は91%でした。生徒を学年別に見ると学年が上がるほど評価が上がっており、受験を意識し自主的に考えて行動していることが分かります。しかしながら、生徒と教職員の評価との間に大きな差が見られることから、学習定着のための家庭学習や提出物の意識に大きな違いがあると考えられます。形だけの提出とならないよう、学習への取り組み方を今後も説いてまいります。
- ※ 「(お子さんは) 自分の考えを進んで発表しようとしている」の問いに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答された保護者は54%、生徒は90%で、生徒の評価が昨年度より増加しました。今年度は道徳の授業において弥富中学校の「道徳スタンダード9か条」を取り入れ、座席配置も話し合い・聞き合いがしやすい形に設定しました。今後も授業や行事の中で生徒が自分の考えを発信する場を設け、経験を積み重ねさせることで自信をもって発表できる力を育ててまいります。

* アンケート結果について、ご質問等がある場合は、十四山中学校 教頭（相田）までご連絡ください。

担当 十四山中学校 教頭（相田）
電話 52-0062